



# 平成30年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月11日

上場会社名 株式会社アイケイ  
 コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 052-856-3101

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	4,239	33.4	208	260.9	211	374.8	150	345.0
29年5月期第1四半期	3,177	1.2	57	227.1	44	392.6	33	

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 152百万円 (350.0%) 29年5月期第1四半期 33百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	80.73	
29年5月期第1四半期	18.14	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	5,324	1,995	37.5
29年5月期	5,207	1,898	36.5

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 1,995百万円 29年5月期 1,898百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		30.00	30.00
30年5月期					
30年5月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年5月期の期末配当金予想は、平成29年12月1日から効力が生じる株式分割(1:2)後の期末配当金となります。従いまして、実質的には普通株式1株につき10円の増配となります。

## 3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,090	128.5	410	193.9	410	195.8	300	195.9	80.51
通期	18,590	121.7	740	132.8	750	135.2	530	124.5	142.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 平成30年5月期第2四半期(累計)連結業績予想の1株当たり四半期純利益及び平成30年5月期通期連結業績予想の1株当たり当期純利益は、平成29年12月1日に効力が生じる株式分割(1:2)が期首に行われたものとして計算してあります。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期1Q	1,952,000 株	29年5月期	1,952,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年5月期1Q	88,900 株	29年5月期	88,900 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期1Q	1,863,100 株	29年5月期1Q	1,863,100 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測数値および将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予測数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は引き続き堅調に推移し、緩やかな回復基調が継続しており、個人消費におきましても給与所得が緩やかに上昇していることから、若干の明るさが見えてまいりました。しかしながら、海外における政治・経済の不透明感から、景気の先行きについては依然として不確実性が高い状態で推移いたしております。

このような状況の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの多さ」と定義づけ「ファンづくり」を経営最大のテーマとして経営理念の実践を重ねております。

当第1四半期連結累計期間におきまして、メーカーベンダー事業では、WEB・TVショッピングルート（B to C）が好調に推移いたしました。また、自社開発化粧品であります「LB」をアセアン地域で拡販することを目的に香港に完全子会社であります「I.K Trading Company Limited」を設立いたしました。商品面では、メーカーベンダー事業における成長の鍵となるキーワードを「化粧品・海外・EC」であるとの認識のもと、自社商品（プライベートブランド商品）の開発に注力してまいりました。

SKINFOOD事業では、個店強化を目的としまして、販売スタッフの名前を覚えて頂けるようなきめ細かな接客対応により顧客化を図ってまいりました。出店及び退店につきましては、当第1四半期連結累計期間における新たな出店は、直営店舗としてアトレ川崎店、FC店舗として静岡パルシェ店を出店いたしましたことから、直営店20店舗（前年同期末19店舗）、FC店3店舗（前年同期末1店舗）の23店舗（前年同期末20店舗）となりました。

ITソリューション事業では、本格的に販売を開始いたしましたビジネス版LINE「LINE WORKS」のほか、既存商品のチャットシステム「Smart M Talk」（スマート エム トーク）、及び通話録音システム「Voistore」の販売に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,239百万円（前年同四半期比33.4%増）、営業利益208百万円（前年同四半期比260.9%増）、経常利益211百万円（前年同四半期比374.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益150百万円（前年同四半期比345.0%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### <メーカーベンダー事業>

売上高は3,950百万円（前年同四半期比36.7%増）となり、営業利益は163百万円（前年同四半期比308.9%増）となりました。

#### <SKINFOOD事業>

売上高は245百万円（前年同四半期比5.8%増）となり、営業利益は47百万円（前年同四半期比120.9%増）となりました。

#### <ITソリューション事業>

売上高は43百万円（前年同四半期比22.3%減）となり、営業損失は3百万円（前年同四半期は4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ85百万円増加しました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が137百万円、「商品及び製品」が145百万円それぞれ増加し、「受取手形及び売掛金」が218百万円減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ31百万円増加しました。

主な固定資産の変動は、有形固定資産の「建物及び構築物(純額)」が8百万円、無形固定資産の「その他」が15百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ105百万円増加しました。主な流動負債の変動は、「買掛金」が167百万円増加し、「短期借入金」が30百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が30百万円それぞれ減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ85百万円減少しました。

主な固定負債の変動は、「長期借入金」が88百万円減少したことによります。この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は3,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ96百万円増加しました。

主な純資産の変動は、「利益剰余金」が94百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期第2四半期(累計)の業績予想につきましては、平成29年7月11日に公表いたしました予想から修正しております。詳細につきましては、平成29年10月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	126,342	263,441
受取手形及び売掛金	2,568,477	2,350,398
有価証券	127,306	127,536
商品及び製品	1,373,104	1,518,200
原材料及び貯蔵品	8,587	9,566
その他	229,004	248,768
貸倒引当金	△2,669	△2,562
流動資産合計	4,430,154	4,515,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	167,791	176,412
土地	80,216	80,216
その他(純額)	39,719	48,346
有形固定資産合計	287,728	304,975
無形固定資産		
のれん	29,753	26,447
その他	82,657	97,935
無形固定資産合計	112,410	124,382
投資その他の資産		
その他	388,699	391,028
貸倒引当金	△11,259	△11,260
投資その他の資産合計	377,439	379,767
固定資産合計	777,578	809,125
資産合計	5,207,732	5,324,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,322,899	1,490,839
短期借入金	180,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	406,962	376,381
未払金	505,749	548,256
未払法人税等	83,735	61,068
賞与引当金	42,805	26,564
役員賞与引当金	—	8,980
返品調整引当金	12,384	10,734
その他	170,090	157,336
流動負債合計	2,724,626	2,830,159
固定負債		
長期借入金	348,931	260,087
退職給付に係る負債	87,347	89,092
役員退職慰労引当金	134,210	136,333
その他	14,020	13,745
固定負債合計	584,509	499,258
負債合計	3,309,136	3,329,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	401,749
資本剰余金	365,001	365,001
利益剰余金	1,168,203	1,262,727
自己株式	△38,938	△38,938
株主資本合計	1,896,016	1,990,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,580	4,517
その他の包括利益累計額合計	2,580	4,517
純資産合計	1,898,596	1,995,057
負債純資産合計	5,207,732	5,324,475

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	3,177,839	4,239,664
売上原価	1,875,045	2,402,191
売上総利益	1,302,793	1,837,473
販売費及び一般管理費	1,244,945	1,628,724
営業利益	57,848	208,749
営業外収益		
受取利息	173	441
受取手数料	951	2,373
その他	1,114	1,360
営業外収益合計	2,239	4,176
営業外費用		
支払利息	1,862	1,166
為替差損	13,592	94
その他	84	146
営業外費用合計	15,539	1,406
経常利益	44,548	211,519
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,492
特別利益合計	—	1,492
特別損失		
固定資産除却損	—	2,901
特別損失合計	—	2,901
税金等調整前四半期純利益	44,548	210,110
法人税等	10,746	59,693
四半期純利益	33,802	150,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,802	150,416

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	33,802	150,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	1,937
その他の包括利益合計	57	1,937
四半期包括利益	33,859	152,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,859	152,354
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

(新会社(孫会社)の設立)

当社は、平成29年10月6日開催の取締役会において、以下のとおり当社子会社のI.K Trading Company Limitedが中国に子会社(当社における孫会社)を設立することを決議いたしております。I.K Trading Company Limitedは、平成29年8月1日付で公表した香港に設立した非連結子会社であります。

## 1. 設立の目的

当社は、自社コスメブランドであります「LB」を日本国内はもとより、海外へも12カ国へ輸出販売しております。当社の海外売上上の約50%を占める巨大な中国マーケットを一気に開拓する為には、中国でのビジネス展開及び化粧品の衛生登録を加速化させる必要があるため、設立するものであります。

## 2. 新設する子会社(孫会社)の概要

(1) 商号	艾瑞碧(上海)化粧品有限公司	
(2) 所在地	上海市浦东新区泥城镇云汉路979号二楼	
(3) 代表者	董事長 飯田 裕 (当社代表取締役会長兼CEO)	
(4) 事業内容	化粧品等の商品販売	
(5) 資本金	50万米ドル(約56百万円)	
(6) 設立年月	平成29年11月中(予定)	
(7) 出資者	I.K Trading Company Limited(60.0%)、高 鉦 (30.0%)、 沈 若彬(10.0%)	
(8) 決算期	12月	
(9) 上場会社と 当該会社の 関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の子会社I.K Trading Company Limitedの60%子会社であります。
	人的関係	当社代表取締役会長兼CEOが董事長を兼任する予定であり、当社取締役が副董事長を兼任する予定であります。
	取引関係	当該会社は、当社の孫会社であり、当社の関連当事者に該当します。